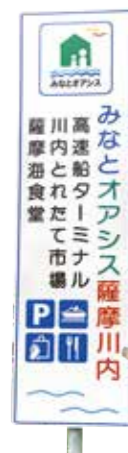


川内港がどんな役割を果たしているか簡単に知ったところで、実際にその周辺を巡ってみたいと思います。



高速船ターミナルに到着すると、何か見覚えのない案内標識が…、いったい何の案内でしょうか？

みなとオアシス

みなとオアシスっていったい何のこと？早速、調べてみました。

みなとオアシスとは

地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進する取り組みが継続的に行われる施設を国土交通省が登録するものです。令和4年7月14日現在、全国155カ所が登録されています。

みなとオアシスは、交流・休憩、情報提供、災害時支援、物販、飲食などを提供する施設から構成されます。

なるほど。じゃあ、みなとオアシス薩摩川内はどんな施設や取り組みを行っているのかな？



日本一元気な港に選ばれました

川内港は、国際物流拠点としてのさらなる発展に期待するとともに、地域一体となったみなとオアシスの取り組みが評価されたことから、日本港湾協会情報誌「港湾」の読者による投票で1位となりました。また、港湾・臨海部の活性化に寄与し、「みなと元気」を高めた港湾にその年、全国で唯一贈られるポート・オブ・ザ・イヤー2021にも選ばれました。

港からもっと元気を

さらに、川内港の隣にある川内（火力）発電所跡地を新たな場所に変わるために、今検討が進められているんだ！

新しくできる施設は、聞くところによると「サーキュラーパーク九州



※上記はイメージであり、決まったものではありません。

みなとオアシス薩摩川内の施設

川内港、里港、長浜港の離れた港が一体的に登録された、全国でも珍しいみなとオアシスです。

各港のターミナルをはじめ、高速船ターミナルに近接する直売所や飲食店から構成されています。中でも、高速船ターミナルはみなとオアシス薩摩川内の代表施設と位置付けられており、観光案内所や船を待ちながらゆったりくつろげるカフェ「こしきしまがみえる Cafe Port de coffee」があります。この他、川内近海でとれた海産物が揃う直売所「川内とれたて市場」や新鮮な海産物を味わうことができる飲食店「薩摩海食堂」があります。

▼カフェや観光案内所を併設する高速船ターミナル



▲Port de coffeeで飲める本市の気象現象をモデルとしたサイダー「川内川あらし」

州」という名称で、タービン建屋など使えるところはそのまま活用。廃棄物や廃油などを再資源化する事業、研究開発などによる課題解決事業の2つがお互いに連携し合うことで新しい循環型のビジネスを生み出す拠点にしようとしているんだって。



オープンイノベーションを実現する新しい循環型ビジネスの創出拠点へ

▲サーキュラーパーク九州の主な取り組みのイメージ図
この取り組みに賛同した多くの企業や大学、そして行政機関が意見を交わし、新しい発想を生み出す場所になりそう…！

川内港を取り巻くいろいろな取り組みが、同時に進行中。いったい、どんな川内港へと発展していくのでしょうか。今後の動きから目が離せません。

みなとオアシス登録施設は、高速船に乗らなくても、いつでもだれでも利用できます。

ぜひ、訪れてみてくださいね。



▲現在の川内港（鹿児島港湾・空港整備事務所より提供）

皆さんが知りたいことや紹介したいことなどがありましたら、情報をお寄せください。

問合せ先／本庁秘書広報課
企画総務・広聴広報G
(内線4122)



▲里港ターミナル



▲長浜港ターミナル



▲川内とれたて市場



▲薩摩海食堂で食べるこのデラックスできる海鮮丼D.O.M.

みなとオアシス薩摩川内の各ターミナル周辺では、これまでもさまざまなイベントが催され、にぎわいをみせています。皆さんもぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。それぞれの地域の魅力が再発見できるかもしれません。

